

平成30年度

第1回

四日市市総合計画策定委員会 資料

<目次>

次期総合計画の策定について 1

現総合計画の検証について 5

平成30年8月28日

四日市市 政策推進部 政策推進課

次期総合計画の策定について

1. 策定の趣旨

総合計画は、長期的な展望に立って本市の目指すべき将来像を描くとともに、その実現に向けて総合的かつ計画的なまちづくりのあり方を示すものです。

総合計画は四日市という都市のビジョンでもあり、これに基づいて行政はもちろんのこと、事業者も市民も行動していくものであり、そのビジョンを実現するためには、行政だけではなく、市民、各種団体、企業など地域を構成するすべての主体が連携・協働していく必要があります。

近年、本市を取り巻く状況は、人口減少・少子高齢化社会の本格的な到来、環境問題の顕在化、高度情報化の急速な進展、市民活動の活発化など大きく変化しています。

こうした流れの中、都市経営の視点に立った行政運営を行い、環境問題への対応と産業の振興を両立させた持続可能なまちづくりを行っていくための明確なビジョンと戦略的な計画を策定することがより一層重要となっています。

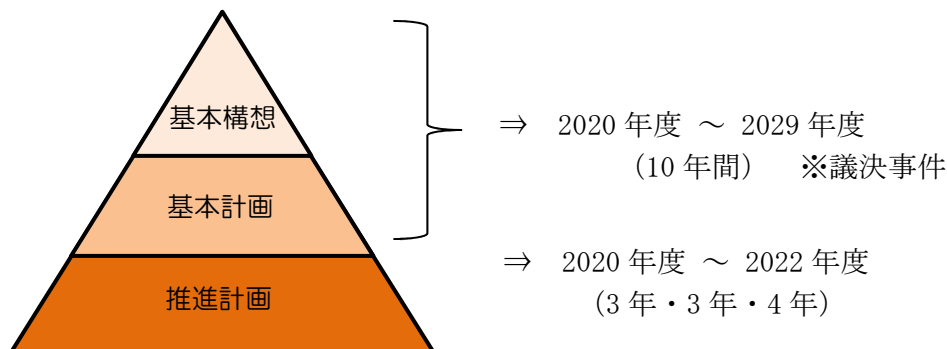
このような状況を踏まえ、平成32年度までを計画期間とする現行の総合計画の終了を待たず、情勢の変化が目まぐるしい近年の社会構造の変化を的確に捉え、新たな時代への対応を確固たるものとし、四日市市の夢のあるまちづくりの実現に向けて、市民、各種団体、企業等の方々の意見も十分に踏まえ、新たな四日市市総合計画を策定していきます。

なお、ここ数年、本市の財政運営においては、市内企業の好調な業績や IT 関連企業の大型設備投資に支えられ、市税収入が好調ではあるものの、経済環境の変化は激しく、市税収入が急減するリスクも十分に認識し、計画策定に当たっては、「最小の経費で最大の効果を上げること」並びに「選択と集中による重点施策の展開」といった観点から取り組んでいきます。

2. 次期総合計画の構成・期間

○基本構想・基本計画・推進計画の3層構造

- 基本構想：本市の目指すべき都市像や基本目標を示すもので、今後 10 年間のまちづくりの方向性を明らかにするもの。
- 基本計画：目指す都市像を実現するため、施策の方向性を示すもの。
- 推進計画：基本計画に掲げる施策の方向性に基づき、具体的な実施事業を示すもの。



<参考> 四日市市市民自治基本条例(理念条例)

(総合計画)

第 18 条 市の執行機関は、総合計画(本市における総合的かつ計画的な行政の運営を図るために定める基本構想並びに基本構想を具体化するため行政運営の基本方針等を定める基本計画及び推進計画で構成されるものをいいます。)を作成し、効果的かつ効率的に市の施策を推進するとともに、その進捗状況を公表するものとします。

3. 策定体制

総合計画は、市民全体で共有する四日市市の将来的なビジョンであり、その実現に向けて、本市を支えるすべての市民が共有しながら取り組む基本的な指針となるものです。

そのため、市民の代表である市議会との議論をはじめ、会議体の設置や多様な手法による市民参画などを通じ、本市を支える市民、企業または団体の方々と一緒に新しい総合計画をつくり上げていきます。

(1) 四日市市総合計画策定委員会

- ・学識経験者、企業、自治会、市民活動を行っている方々約 21 名で構成
- ・総合計画の策定や市の作成する計画案に対して意見を述べ、議論する

(2) 分野別政策検討会議

- ・基本的な政策課題に対応するため、5つの分野において政策検討会議を設置する
- ・各分野にアドバイザー（学識者）を設け、市の若手・中堅職員とともに課題解決に向け、検討を行う

【各分野アドバイザー】

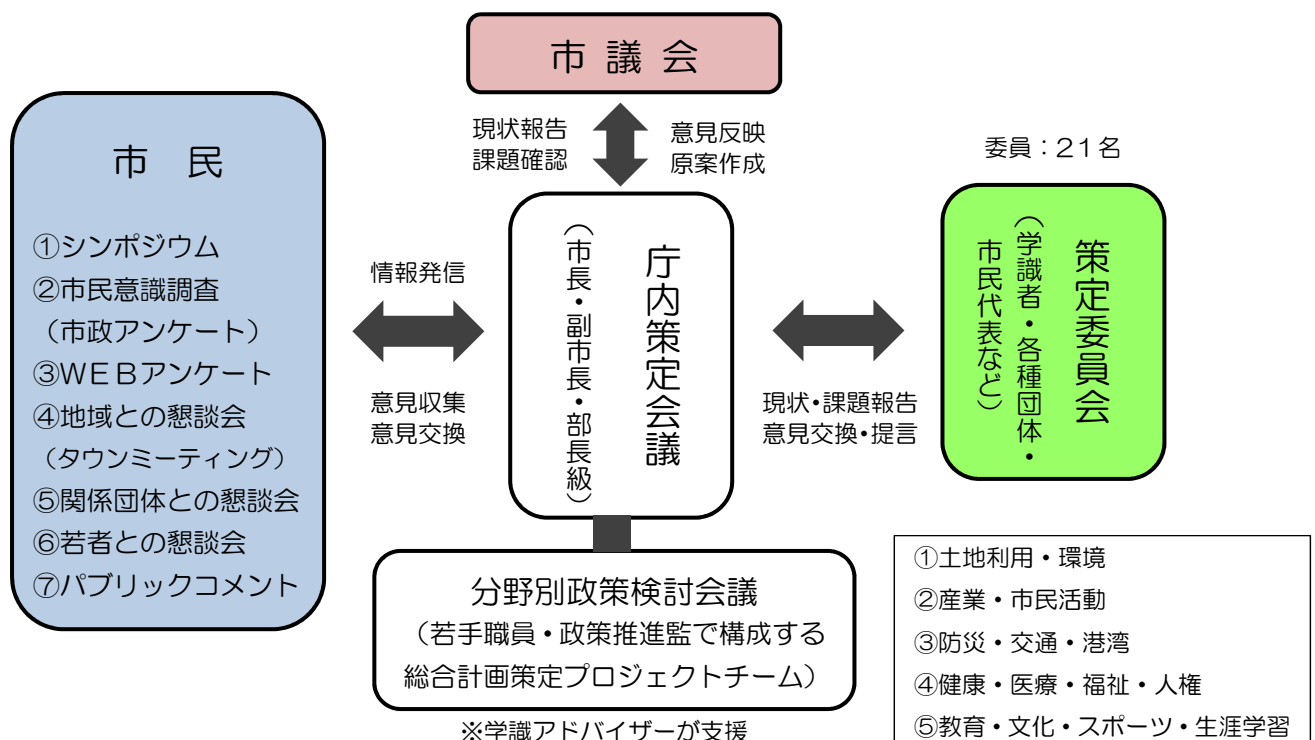
- ①土地利用・環境分野： 村山 顕人 氏【東京大学大学院工学系研究科 准教授】
- ②産業・市民活動分野： 江口 忍 氏【名古屋学院大学現代社会学部 教授】
- ③防災・交通・港湾分野： 秀島 栄三 氏【名古屋工業大学大学院工学研究科 教授】
- ④健康・医療・福祉・人権分野： 伊藤 薫 氏【四日市看護医療大学地域看護学 准教授】
- ⑤教育・文化・スポーツ・生涯学習分野： 久保田 英助 氏【愛知学泉大学家政学部 教授】

(3) 庁内策定会議

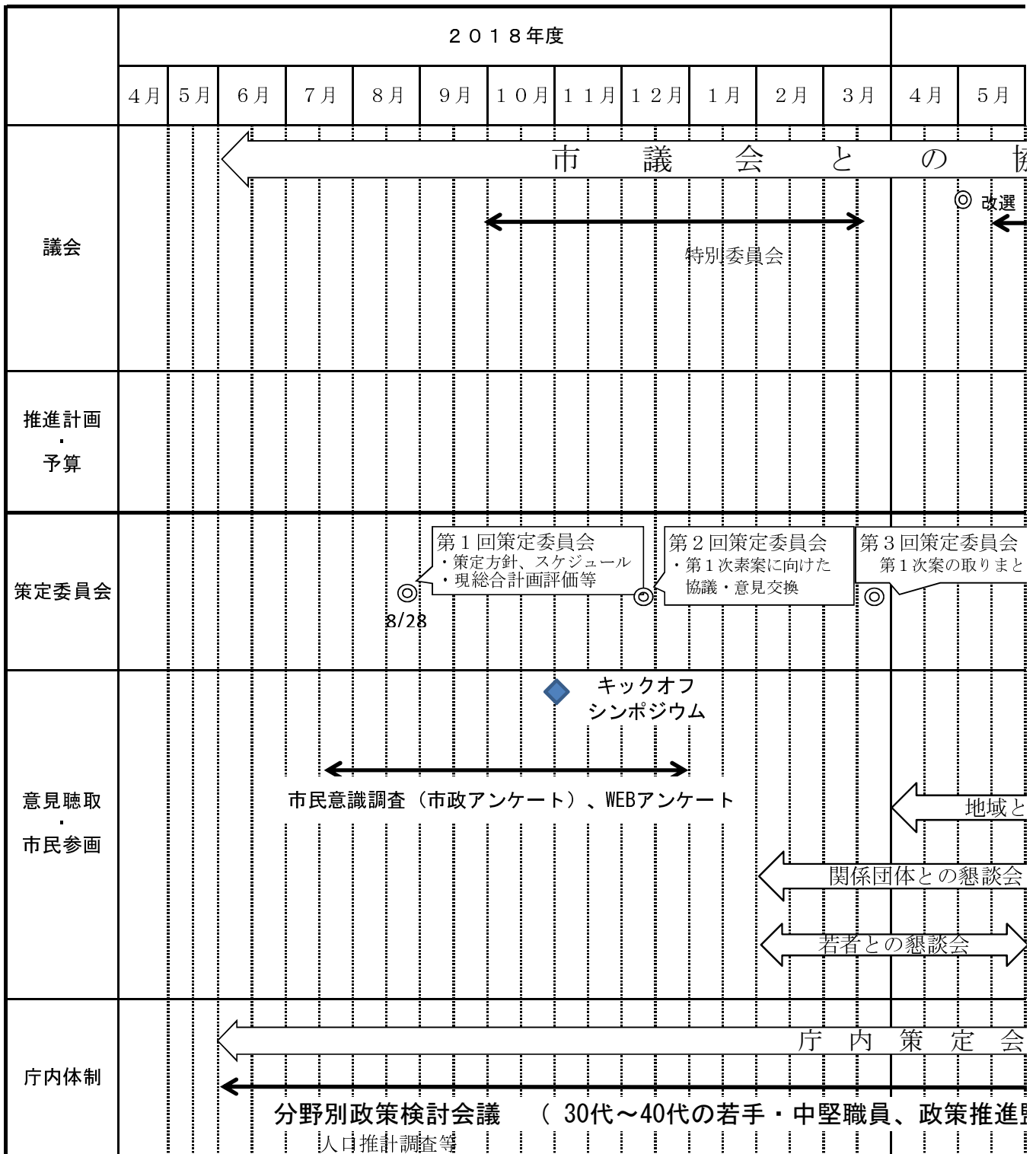
- ・総合計画策定の立案や策定および総合的な調整を行う市の庁内組織として設置
- ・市長、副市長および各部局長等の職員で構成

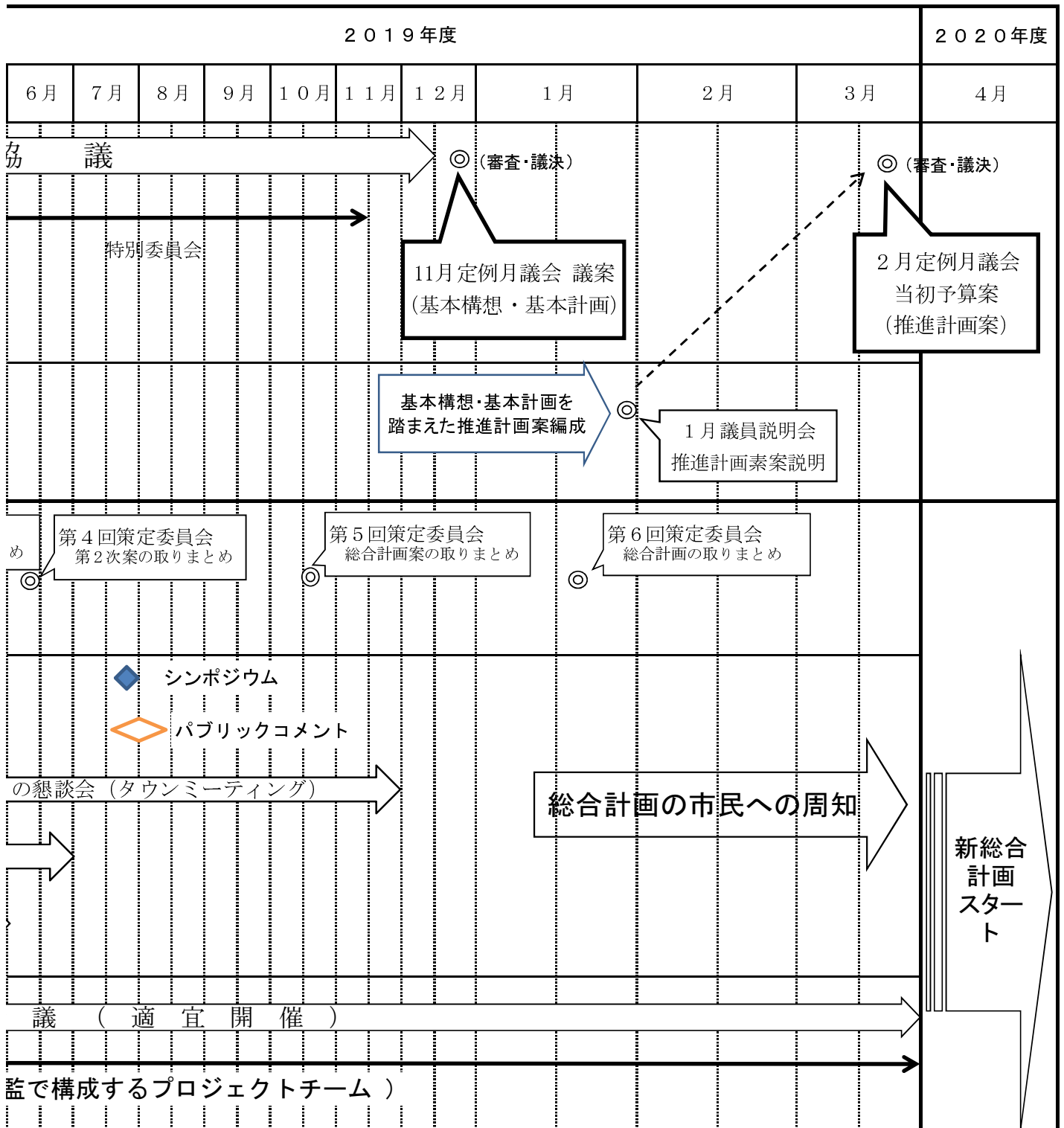
(4) 市民参画

シンポジウム、懇談会、アンケート及びパブリックコメントなどのあらゆる手法で市民参画を促し、計画策定段階から幅広く意見をいただきながら、新たな総合計画をつくり上げていきます。



4. 策定スケジュール





現総合計画の検証について

1. 総合計画に係るこれまでの検証の取り組み

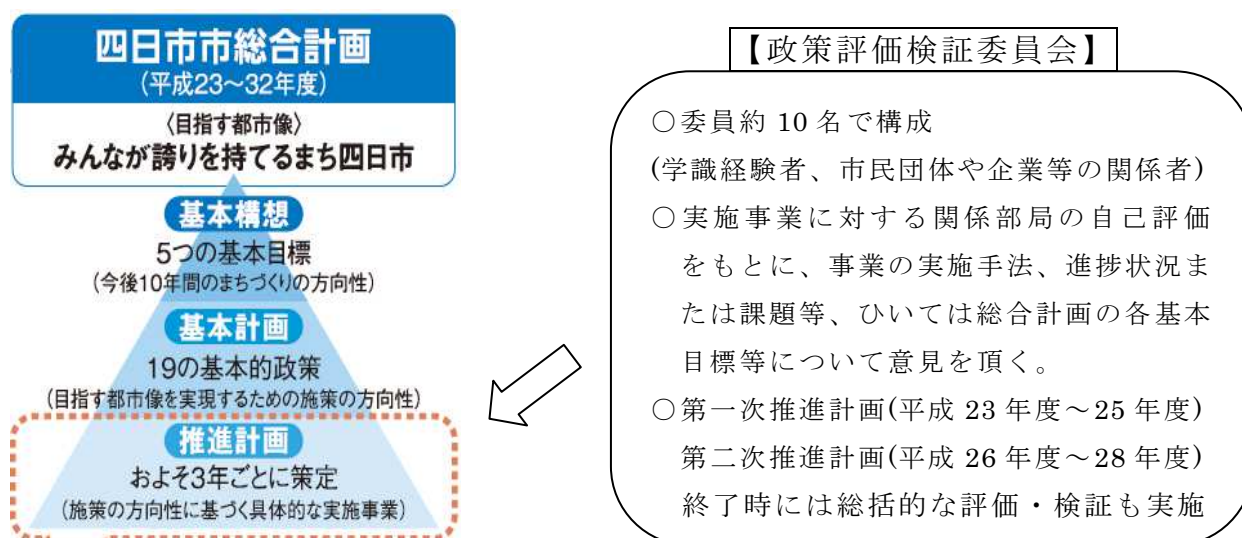
◆【総合計画の推進】

四日市市は、平成23年度から平成32年度までの10年間のまちづくりの基本的な方向性を示す「四日市市総合計画」の策定を行い、同計画に掲げる方向性を踏まえて具体的な実施事業を取りまとめた「推進計画」によって、各事業の推進を図ってきている。

◆【総合計画に係る検証の取り組み】

○推進計画の評価・検証⇒政策評価検証委員会の設置

総合計画の施策の方向性に基づく具体的な事業を取りまとめた「推進計画」について、外部の委員で構成する政策評価検証委員会を設置して、第三者の視点から評価・検証を進めてきた。



2. 第一次推進計画(平成23年度～平成25年度)に対する総括的評価

- 総合計画の最初の3箇年としては、「おおむね着実な進捗と達成」と言える。
- 次の第二次推進計画期間は、少子高齢化の進展がより深刻化すると考えられ、第1次推進計画をただ延長していくことは許されない。
- 第1次推進計画の成果と課題の意味を今一度吟味し、新たなアプローチを見出し、新規事業の創出や充実・再編を図るよう不断の努力を継続してほしい。
- 特に、個別に意見のあった、『中心市街地の活性化』、『地域包括ケアシステムの構築』、『今後整備される文化施設の有効活用』等は、今後強く対応が求められる課題である

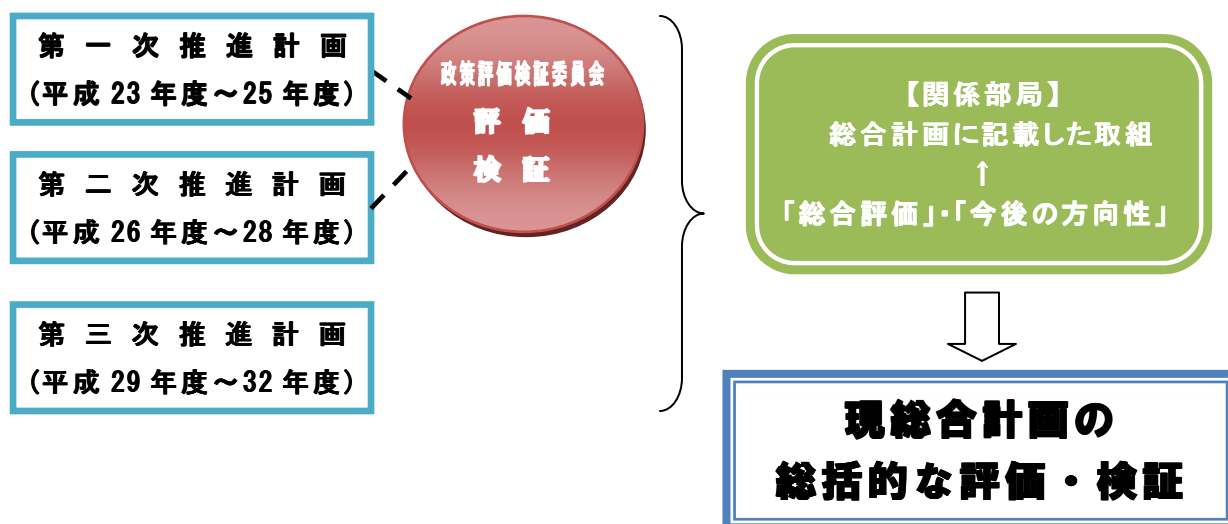
3. 第二次推進計画(平成26年度～平成28年度)に対する総括的評価

- 各事業の自己評価を見ると、本来目的に対する成果への評価であるべきはずが、計画に挙げた事業を完了できたかどうか、という活動への評価になっているものも多く見られた。
- 事業の実施手法については、それが目的達成に効果があったかを深く検証し、場合によっては手法の見直しも含めて考えられる体制づくりを求める。
- 目的を再度深く分析して、その中で認識した課題、ひいては事業に対するより前向きな取り組み姿勢を持つことを希望する。
- 市役所内での横の連携が重要である。現状では、一つの事業について複数の担当課がある場合、目的に対してどれだけの成果が上がっているかが分かりづらいが、横の連携を意識して互いに補い、大きな目的・ビジョンを達成するためには、連携という視点も含めた評価・検証を行うことが必要である。
- 連携は、事業を通じた各地域、市民との間にも意識されるべきである。防災や地域包括ケアシステムといった分野に限らず、人材の確保が大きな問題となる現在、地域力の向上を目指し、行政の立場から共助の動きを引き出す働きかけが求められる。
- 動き始めた第3次推進計画についても、改めて当初の目的を見直し、計画の精査・推進に臨むよう強く希望する。

4. 現総合計画の総括的な評価・検証について

現総合計画の総括的な評価・検証については、これまで本市が進めてきた推進計画に対する「政策評価検証委員会」による評価及び検証を踏まえつつ、関係部局が10か年の総合計画に記載された取り組みに対し、全体的に評価することとした。

その上で、各施策の実施及び進捗状況等に関する「総合評価」または「今後の方向性」を記述し、現計画の計画期間における総括的な評価・検証を行い、これらを基に、次期総合計画の策定につなげていくこととしている。



5. 現総合計画の検証 進捗状況の集計結果(速報版 8/28)

現総合計画では、5つの「基本目標」の下に19の「基本的政策」と69の「重点的施策」を掲げ、『みんなが誇りを持てるまち四日市』の実現に向けて取組を進めてきました。

本件は、これまでの取組について各部局が検証した内容を集計したもので、次期総合計画を策定するに当たり、現総合計画の進捗状況の把握や残された課題の整理を行うための準備資料となります。

進捗管理

- ◆ 5つの「基本目標」の下に19の「基本的政策」と69の「重点的施策」を掲げ、施策や事業を推進し、その進捗管理を行いました。
- ◆ 5つの基本目標の進捗状況を把握するため、指標および数値目標を設定し、第1次～第3次推進計画の期間ごとに推進しました。

検証

(1) 重点的施策

重点的施策について、総合計画に記載された取組がどの程度実施できたかを踏まえ、各部局が施策の実施状況に関する「総合評価」を4段階で評価しました。※一つの「施策」を複数の所属が担当している場合があるため、実際の「施策」よりも評価された「施策」の延べ数が多くなっています。

基本目標	重点的 施策 (数)	実施 施策 (数)	総合評価			
			◎	○	△	—
1 都市と環境が調和する まち	15	57	25	27	5	0
2 いきいきと働ける集い と交流のあるまち	13	33	13	20	0	0
3 誰もが自由に移動しや すい安全に暮らせるまち	12	39	16	22	1	0
4 市民が支えあい健康で 自分らしく暮らせるまち	14	84	24	60	0	0
5 心豊かな“よっかいち 人”を育むまち	15	67	17	45	3	2
計	69	280	95	174	9	2

<総合評価の凡例>

- ◎ 基本目標に向かって施策を十分に実施し、成果が上がっている。(成果が上がるのが確実である。)
- 基本目標に向かって施策をかなり実施し、成果が上がっているが、一部に課題も残っている。
- △ 基本目標に向かって施策を実施したが、成果が十分とは言えず、課題や改善点を残している。
- 基本目標に向かって施策を実施することができず、抜本的な見直しが必要である。

基本計画に掲げた重点的施策に基づく実施施策 280 項目のうち、◎・○が 269 項目と、全体の 96.1%が基本目標に向かって施策を十分（又はかなり）実施でき、成果が見られる結果となりました。

現計画期間中に、重点的施策を概ね順調に進捗できると考えられることから、引き続き、残された期間で着実に実施するとともに、課題の整理を行う必要があります。

（２）指標・数値目標

5つの基本目標ごとに、第1次～第3次推進計画において設定した指標および数値目標の実績を検証し、達成状況を取りまとめました。

	達成状況	指標・数値目標数	割合
第1次推進計画 (H23～25年度) 56項目	達成	20	35.7%
	一部達成	4	7.1%
	未達成	32	57.2%
第2次推進計画 (H26～28年度) 55項目	達成	21	38.2%
	一部達成	2	3.6%
	未達成	32	58.2%
第3次推進計画 (H29～31年度) 55項目	達成	4(※H29末)	—
	一部達成	2(※H29末)	—
	未達成	—	—

※「一部達成」とは、1つの指標に複数の数値目標がある場合に、目標の一部を達成したものを指す。

第1次・第2次推進計画では、いずれも数値目標を達成した項目が4割弱、未達の項目が約6割となりました。達成した目標は、次の推進計画期間でさらに高い目標を設定するなど、「みんなが誇りを持てるまち四日市」を目指しており、第3次推進計画に基づき、各部局が着実に施策の推進に努める必要があります。

今後の流れ

- ・ 第1回四日市市総合計画策定委員会において、ご意見等を伺う。
(※必要に応じて第2回委員会でも実施)
- ・ 策定委員会で出された意見等を参考に、最終的な総括を行う